

Title : From the past to the future

『私は社会の発展に貢献できる人間になりたい。』そういう漠然とした思いを持ちながら、中学・高校生活を送っていた。私に何ができるのか、何が社会の為になるのか、今の勉強が本当に役に立つのか…。そう思いながらも、ただひたすら勉強と部活をするだけの生活で、将来がとても不安だったのを覚えている。ただ、分からないなりに、科学者になろうとだけは決心していた。今考えると、直感的に社会に貢献できる方法の一つだと分かっていたのだろう。私が特に興味を持ったのは、通信関係の分野についてだった。なぜなら、これからの時代は、デバイスもネットワークも更に発達し使われていくと考えたからだ。今の大学に進学しようと考えたのは、1年次から積極的にシミュレーターや機械を使った実験を行い、色々な分野の講義を受けられ、たくさんの研究施設が整っていた為だ。

大学に進学してから1,2年は、多くの知識を身に付けることから始まった。基本的な通信に関する知識や一般教養はもちろんのこと、心理学、運動生理学などの、全く関係の無い講義も受けた。もしかしたら、全く必要の無いことだったかもしれない。しかし、通信の技術は広い範囲の分野で活用されている。広い分野で活用されているということは、その分野がどのようなものか、知っておけば何かの役に立つかもしれないと考えたからだ。その他にも、色々なことを学んでいけば、それだけ私の知識や考えが広がり、より柔軟に物事を考えることができると考えたからだ。期待をしていたシミュレーターや機械を使った実験も多く行うことができ、早い段階からネットワークの概要や仕組みを的確に捉えることができた。実験を行うことにより、講義ではイメージしにくかったネットワークの流れや仕組みを、はっきりとした形で捉えることができた。講義で学んだことを私たち自身で、実験を通してまた再確認出来たため、とても効率よく通信の勉強を進めていくことができたと考える。

そして私は今3年生である。1,2年生では広い分野を学んで私自身の視野や知識を広げてきた。中学・高校生活では、『私は社会の発展に貢献できる人間になりたい。』そういう漠然とした思いしか持っていなかったが、今になりはっきりと進む道を決めたのだ。それは広い通信分野の中でも特に、携帯電話の通信に関する道に進もうと考えた。なぜなら、少し前まで携帯電話といえば通話やメールだけだった。しかし56歳という若さで亡くなった一人の天才が生み出した、当時としては新しい概念の携帯電話の誕生で、いままでの使われ方が一変した。スマートフォンの誕生である。これにより通話やメールだけでなく、より身近にネットワークを介し人とつながり、情報とつながり、共有することが出来るようになった。そのため、生活の中で携帯電話が使われれば、使われるほど、通信される情報量が多くなる。そして、これからの生活はそれが当たり前のように使われていくと考えられる。あの衝撃から、4年が経過した。今では大量のアプリケーションソフトの中から自分に必要なものを自在に追加し、削除出来るようになり、より身近に、より簡単に、大容量通信が可能となっている。しかしデバイスの発達は凄まじいが、それに比べ通信ネットワークの発達は微々たるものだと言ってよい。いくら光速通信、大容量通信ができるデバイスが開発されたとしても、ネットワークがそこまで追いついていないのだ。これからの時代、この分野の発展、発達が私たちの生活を豊かにすると言っても過言ではない。そのため私は『社会の発展に貢献できる人間になりたい。』という思いから、この道を歩んでいきたいと考えた。

以上のように私は、携帯電話の通信分野の研究をこれから行っていく。まだまだ、分からないことだらけである。しかし、自分の研究に自信を持ち積極的に取り組んでいきたいと考えている。もちろん私が行っていく研究分野以外のことも、たくさん学んでいこうと考える。これは先に書いたように、通信の分野が広いからだ。ただ無意味に研究を進めていくのではなく、活用でき、社会の発展に貢献できる働きを目指すためだ。たくさんの不安を抱えながらも、これからの明るい未来の為に、一步一步微力ながらも科学者として、勉強の日々を送っていきたいと考える。